



議会だより忠岡

第16号
令和4年5月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎0725-22-1122(代)



「シビックセンターの桜」

次回の議会日程

いずれも10時より(予定)

5月10日(火) 第1回臨時会

6月14日(火)

6月15日(水)

7月 1日(金)

第2回定例会

もくじ

令和4年予算審査特別委員会審議結果	2 ページ
一般質問(今奈良幸子・三宅良矢)	5 ページ
一般質問(河瀬成利・松井匡仁)	6 ページ
一般質問(前川和也・小島みゆき)	7 ページ
一般質問(北村孝・勝元由佳子)	8 ページ
一般質問(二家本英生・是枝綾子)	9 ページ
一般質問(河野隆子)	10 ページ
3月議会の議案審議状況・意見書一覧	10 ページ

令和4年度予算審査特別委員会 審査報告

開催 令和4年 3月15日～17日

予算審査特別委員会委員

委員長 河瀬成利(呈祥会・大阪維新の会)
 副委員長 二家本英生(日本共産党)
 委員 北村孝(公明党)／今奈良幸子(呈祥会・大阪維新の会)／河野隆子(日本共産党)／三宅良矢*(無所属の会)
 オブザーバー 和田善臣 議長 ※2日目以降は欠席

令和4年度当初予算額 133億5,964万2千円

令和4年度当初予算は、前年度当初比4.3%増の133億5,964万2千円となりました。

○ 会計別予算額

(単位:千円;%)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	増減率
一般会計	7,537,277	7,133,000	404,277	5.7
特別会計	4,125,019	4,095,036	29,983	0.7
国民健康保険事業勘定特別会計	1,866,639	1,942,051	△75,412	△3.9
介護保険特別会計	1,749,294	1,682,155	67,139	4.0
後期高齢者医療特別会計	509,086	470,830	38,256	8.1
企業会計	1,697,345	1,584,456	112,889	7.1
下水道事業会計	1,697,345	1,584,456	112,889	7.1
合計	13,359,641	12,812,492	547,149	4.3

○ これまでと違う令和4年度当初予算編成の特徴

健全な財政運営への取組みとして、予算編成方法に「**枠配分方式**」を導入

→ 各部局の経常経費(一般財源)について、上限額と縮減目標を設定 **効果** 縮減額:3,320万7千円

令和4年度の主な施策と予算額

教育・子育て

- ・ 統合型校務支援システム構築事業 【新規:85万1千円(5年総計:1,699万円)】
校務支援システムの導入により教職員の事務を効率化することで、より教職員が子どもと向き合う時間を確保すると同時に教職員の働き方改革を推進。
- ・ 子ども医療費助成事業 【拡充:491万7千円】
令和4年10月から子ども医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡充。
- ・ 就学前施設給食費無償化事業 【継続:2,705万8千円】
町独自の取組みとして、就学前施設の給食費(主食費・副食費)を無償化。

安全・安心なまちづくり

- ・ 消防団ポンプ自動車整備事業 【新規:2,853万4千円】
複雑多様化・大規模化する各種災害に対応するため、消防団のポンプ車両を更新。
- ・ 町道老朽化対策改修事業 【新規:4,000万円】
老朽化が著しい町道の改修工事を実施。

その他重点事業

- ・ 一般廃棄物処理基本計画策定等事業 【新規:500万円】
今後の忠岡町のごみ処理体制のあり方について基本構想を検討するなど、ごみ処理計画の改定を実施。
- ・ ESCO事業 【新規:556万円】
令和5年度に町施設の空調設備や照明の省エネルギー改修を実施するにあたり、ESCO事業の活用について検討。
- ・ (仮称)東忠岡認定こども園整備事業 【継続:8億2,000万円】
東忠岡地区において幼保を一元化。令和5年4月の認定こども園開園に向け、令和4年度中に新園舎の完成を目指す。(令和3年度からの3カ年事業)

質疑応答 <部局ごとの質疑>

問 あすなろ塾事業の参加数が減少。どのように向上していくのか？

答 募集等をやはりより丁寧、きめ細かにしていく必要がある。担任の先生からもこの施策の狙い等を丁寧に周知いただいて、教室に例えば掲示するという形。

問 英語検定受験料負担対象が本町に住まれている中学生、高校生、大学生、専門学校生であるが、年齢を下げただけでないか？

答 小学校で教える英語は、中学校の教育につないでいくものなので、楽しむことを重視しております。

問 災害用備蓄品に粉ミルクと併用し液体ミルクの導入をされよ。

答 賞味期限の問題、価格の割高というところもあり今の時点ではさせていただいてはないが一度検討させていただきたい。

問 アドプト活動をやっていただけるグループを募集されよ。

答 ホームページ等々で周知をしながら広く公募したいなと思っています。

問 北区いこいの広場の一角を、子ども園工事のために貸しているがなぜ無償か？

答 経費削減のため、無償提供することで合意した。

問 公共事業において企業から依頼を受ければ、忠岡町が保有する土地を無償で貸すことはあるか？

答 無償で貸すこともあり得る。

問 文化会館にWi-Fi設置を。

答 今後、リモート形式の公民館活動として視野に入れる必要がある。自宅での受講が可能になり、現地の講座に参加できない方へのサービスという方向性もある。将来的には、重要な項目の1つである。

問 コロナ禍で登校できない児童生徒に対し、タブレットを活用した家庭学習の検討を。

答 現時点ではあくまでも長期の臨時休業等を想定している。今後、タブレットの家庭学習での活用については、研究する。

問 文化会館運営委員会で働く婦人の家を廃止するという議論があった。なくすのであれば男女共同参画センターの設置を。また各種講座も増やされよ。

答 企画人權課とすり合わせをしていきたい。講座については財政課と調整がいる。

問 国保会計は黒字で毎年2,000万円積み立てている。この基金を使って高い国保料の値下げをされよ。

答 保険料引き下げに使うことは考えていない。

総括質疑 <大局的な質疑>

問 総合福祉センターや東忠岡老人憩いの家の指定管理者が令和3年4月からビケンテクノに選定。展開されたイベントは？

答 脳活体操、ヨガ、手作り教室、食事と栄養や高齢者とお薬等の講座、近畿財務局から詐欺防止の講座。

問 町の生涯学習の事業として独自のサービスとこれからの方向性は？

答 親サロン、のびのびサロン、ブックスタート事業。令和5年に設置予定の公立こども園でも事業展開を考え、庁舎内、保健センターも活用していく。

問 人口減少化は喫緊の課題である。今後どのような対策、町としての見解をお持ちなのか伺う。

答 来年度、若い職員から構成する子育て支援プランチームを立ち上げ、どんな施策があるのか見やすくしてPRをしていこうかと考える。

問 プラスチック資源循環促進法が4月から施行されるが、本町として資源の循環をどう取り組み進めていくのか。

答 現在、基本構想をつくって来年度、一般廃棄物の基本計画の中に委員皆さまの意見を盛り込んでいきたい。

問 プロポーザル契約が6件あったが、募集について、通知期間が短く、応募する業者が少なかったのは問題である。今後の課題は。

答 現在、基準等は設けていない。入札制度と随意契約の見直しを重点に置き、プロポーザル契約についても、今後、事務処理要領等、ガイドラインも含めて作成する。

問 保育士、幼稚園で働く方を対象に、2月から国より3%、月額約9,000円の賃上げ分の補助が出る。本町の対応は。

答 民間の保育士、公立の保育所と幼稚園の会計年度任用職員については、3%の賃上げを行うが、公立の正職員については、他の職員間の均衡を考え、今の段階では、賃上げを行わない。

問 本町でも新型コロナウイルス感染の陽性者が増えている。濃厚接触者でなくても、誰もが無料で受けられるよう、町独自のPCR検査の実施を。

答 予算の確保、実施の仕方について検討がいるため予定していない。

問 女性や子どもにとって最も身近な性暴力が痴漢であるのではないか。18歳以下が7割という調査もある。本町と教育現場が連携して相談できる体制を。

答 嫌な行為を受けた場合の相談できる窓口を今後も進めていきたい。

令和4年度当初予算に対する意見集約

呈祥会・
大阪維新の会

健全な財政運営を実現すべく、予算編成で枠配分方式を導入し、各部局に縮減目標を設定したことを評価します。住民サービス拡充のために、歳出削減と歳入増加が喫緊の課題であり、財政効率化が見込まれる広域連携の推進、各事業における委託料や団体補助金の用途を精査し、メリハリのある財政運営に努めていく必要があります。同時に、人格の形成につながる生涯学習において公が果たすべき役割を考え、取り組みをお願いし、賛成します。

公明党

新規事業で総合型校務支援事業、消防団ポンプ自動車整備事業、町道老朽化対策改修事業、公園緑地等の利活用検討事業、また子ども医療費助成の18歳までの拡充。そして、国においては不妊治療の助成、拡充を20年以上にわたって強く求めてきた事から新年度から不妊治療が保険適用になり、子どもを求める方にとって朗報であります。理事者においては、しっかりと執行して取り組んでいただく事を求めて公明党の賛成意見といたします。

日本共産党

子ども医療費助成制度を高校卒業まで拡充。
不登校児童、生徒のための適用指導教室に指導員1名の追加。
聞こえにくい防災行政無線の放送内容を登録している方に電話がかかってくるシステムの取り組み。水洗化率91.1%からさらなる水洗化の向上に努められる予算が組み込まれています。
黒字にもかかわらず高い国保料値上げや、後期高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げることが盛り込まれた。予算について改善を求め、賛成とする。

審査結果（本会議3日目：令和4年3月25日）

上記予算審査特別委員会の結果を受け、「令和4年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出予算」並びに「令和4年度忠岡町下水道事業会計予算」については、全会一致により可決となりました。（11ページ「議案第15～19号」参照）



今奈良 幸子 議員 （呈祥会・大阪維新の会）

健康支援について

問 医療機関利用の在り方に対するの考えと子ども医療費助成の年齢を18歳までに拡大した背景とは？

答 〈健康福祉部長〉病気の早期発見や重症化の予防のためには医療機関の受診は重要。引き続き適正な医療につながる支援を行っていく。子どもの健全な育成と福祉の向上を図ること、子育て世代の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを推進するため。

問 健康に生活していく中で食と運動が大切。不登校児の増加傾向には、新型栄養失調というビタミン・ミネラル・食物繊維をあまり摂取できていないことも原因。これからの健康支援をどのようにしていくのか？

答 〈健康福祉部長〉自身に合った正しい情報を選択する力を身につけられるよう、広報、ホームページでの情報発信を初め、新型コロナウイルスが終息にむかえば、講座の開催等も視野に食育を推進していく。運動についてソフト面でもハード面でも健康支援に努めていきたい。

(仮称)東忠岡地区認定こども園について

問 現在、幼稚園・保育所に通っている保護者と教育委員会の意見交換をする場を作っていただくことは？

答 〈教育部長〉近年コロナ禍の影響もあり実施できていない。今後様々な行事などを通じて交流できるよう検討する。

問 教育方針・目標は？

答 〈教育部長〉将来の忠岡町を担う子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた資質を育ていく。何事にも意欲的に取り組み、心豊かでたくましい子どもの育成。

問 発酵食品を積極的に取り入れ、食品添加物が少ない体に優しい食事(オーガニック給食)を目指しては？

答 〈教育部長〉安定的な量の確保と併せて仕入れ価格が高いという2つの課題があり、導入は難しい。



三宅 良矢 議員 （無所属の会）

不妊治療の公的保険適用にむけて

問 これまでの助成してきた予算を3割負担への支援として給付し続けることはできないか？

答 〈健康福祉部長〉大阪府に上乘せしてやってきたので忠岡町独自では行わない。

問 「体外受精着床前検査」は先進医療として扱われる見込みである。民間保険での特約加入などの制度の周知について進めることはできないか？

答 〈健康福祉部長〉命の選別につながるような啓発は難しい。

大津川の危険水位を示す表示

問 最初の実行していくという答えから2年近く経っている。いつできるのか？

答 〈産業まちづくり部長〉既に2本線は引いているので、なるべく早い段階で完了する。

子どもへの懲戒権(民法822条)なくなりませう

問 一般的なしつけに対しても委縮させ、今後の虐待通報における世間の誤解や誤った判断を招かないか？

答 〈教育部長〉子の利益に関する820条は残る。したがって「しつけ」の理念は変わらない。忠岡町も今まで以上に対応を強化していく。

保育施設への実地監査

問 児童福祉法改正により例外的に書面監査も可能となる。大阪府は職員数が施設に対して少ない割合なので、書面監査が恒常的になる可能性が高い。本町としては子どもの環境の安全を考え、現場での実地監査以外は認めない方向で対応してほしい。

答 〈教育部長〉現地での検査が基本であると認識している。大阪府などへは実地検査を強く要望していく。



河瀬 成利 議員 (呈祥会・大阪維新の会)

生涯にわたって学べるまちづくり

問 本町の学びや、文化の振興及び文化会館について、現状はどのように認識しているのか。

答 〈教育部長〉文化会館は開館以来、文化の発信基地として地域に根付いた一定の役割を果たしてまいりました。しかし社会経済状況などが大きく変わってきたことや、本町の財政悪化の影響で、開館当時から比べると文化の発信基地としての役割が低下してきていることが否めないものであります。

問 文化会館を活性化していくためには、開館日や図書館の開館時間の拡大等を見直す必要があるのではないか。利用されている方にも協力頂きながら文化会館を運営していく必要があると思いますが、どのようにお考えか。



答 〈教育部長〉見直すべき課題は多くあり、これらの諸課題の解決を図るべく、令和2年度に文化会館運営委員会を立ち上げました。この文化会館運営委員会においては文化会館の在り方について、持続可能な総合施設としての運営方針、各館の特性を生かした発展的な事業展開についてお諮りしております。運営委員会の答申を基にして、今後の運営方針について検討してまいります。

問 文化会館、その他児童館、ふれあいホールの各施設の老朽化や運営方法等についてどのようにお考えか。

答 〈教育部長〉文化会館は築37年が経過しており、雨漏りなど修繕が必要な箇所が数多く存在します。児童館、ふれあいホールも同等に老朽化が著しい状況ですが、修繕には多額の経費が必要であることから慎重に対応してまいります。

また運営方法については、指定管理や委託なども含め、あらゆる方策について、幅広く検討してまいります。



松井 匡仁 議員 (無所属の会)

広報ただおかについて

問 忠岡町へお仕事に来ている方や忠岡町でお住まいを探されている方に向けて駅やコンビニに広報ただおかを置いていただくようにできないでしょうか？

答 〈町長公室次長兼企画人権課長〉忠岡駅など配置場所拡大につきまして検討を進めてまいります。

答 〈町長公室長〉本町では、犯罪防止の観点から、各自治振興協議会にご協力いただき、防犯カメラの設置を進め犯罪防止に努めていますが、落書きが多発している地域においては、啓発看板の設置を検討するとともに、落書きを発見した場合は、すぐに警察に通報するよう呼びかけを行ってまいります。

問 落書き被害にあわれた民家や店舗、ガレージなどの落書き除去について、落書きは消さないとどんどん広がっていく。また、犯人が検挙されても賠償がされないケースが多数あり、損害保険会社においても落書きは火災保険の対象外であるとの事。被害にあわれた方が消すことを諦めないうちに、高額になる落書き除去の費用補助を検討していただきたい。

スプレー落書き対策について

問 最近、町内でスプレー落書きの被害が多発しています。放っておきますと被害が拡大して町の治安にも影響しますので、啓発や対策の強化を行っていただきたい。



答 〈町長公室長〉民家等への落書きについて、加害者側に支払い能力がない場合や加害者を特定できない場合の落書き除去費用は被害者側の負担となってしまうことを受け、今回落書き除去にかかる費用の補助についてご質問ですが、高額な費用負担も認識している所ではありますが、財政的な面からも町が負担するという事は非常に厳しいものと考えております。



前川 和也 議員 (呈祥会・大阪維新の会)

令和4年度施政方針から

問 本町と民間団体とで締結している様々な防災協定は、そのほとんどが民間団体からの有難い申し出によるものだが、本町のニーズに即した協定をこちらから持ちかけることや、既に締結している協定をより効果的なものとするには、マンパワーの拡充、特に自衛官OBなどの危機管理に携わったことのある方を登用すべきである。

答 〈町長公室長〉危機管理課では正職員3名と再任用1名の合計4名が従事している。限られた人員の中、適切な人員配置や体制づくりに努める。

問 府庁に市町村局が設置され、市町村との連携を密にしていくということである。①少子高齢化が加速化していくに当たり、市町村が担う「基礎自治機能」をいかに維持していくかが大きな課題だが、どう果たしていくのか。②ここ最近の市町村担当部局と本町の関わりについてどのようなことがあったのか。

答 〈副町長〉①町単独の事業運営を目指しながらも、広域連携や公民連携の今まで以上の活用が必要である。②少子高齢化がもたらす将来課題に備えての中長期財政シミュレーションを作成し、その意見交換を行ってきた。

問 中長期財政シミュレーションについて府には公表しないことを求めるという非常に残念な議会議決となってしまったが、府内町村の財政状況は大変厳しい見通しであり、今までの手法では対応できない。

答 〈副町長〉行財政改革や広域連携など、受け身の姿勢にはならず積極的に府の市町村局を活用する。

問 公民連携について、これまで関わりの少ない「学」の分野、高等教育機関と連携し住民サービスの拡充を展開していくべきである。

答 〈町長〉大学や高校などと様々な機会を通じて連携を深め、まちの活性化に取り組みたい。



小島 みゆき 議員 (公明党)

带状疱疹ワクチンについて

問 80歳までに3人に1人が带状疱疹になると言われています。発症するとピリピリ、チクチクと刺すような痛みがあり、また、強烈な痛みで日常生活が困難になったり、带状疱疹が現れる部位によって重い後遺症が生じます。带状疱疹ワクチン接種をする事で発症しても軽症で済み、後遺症の予防に繋がります。接種費用が高額なので、带状疱疹ワクチン接種の助成をしていただきたい。

答 〈健康福祉部長〉予防接種の意義は大きいと認識しているが、国でも任意接種、国の動向を注視し対応する。

答 〈健康福祉部長〉子宮頸がんワクチンの情報提供を充実させ4月から接種対象者に個別の接種勧奨を実施していく。

問 接種機会を失った方たちへの対応や情報提供等はどうのようにされますか。

答 〈健康福祉部長〉国の方針が決まり次第、周知を行う。

子宮頸がん予防ワクチンについて

問 子宮頸がんは60~70%は予防できるがんと言われています。2010年から公費助成が始まり、2013年から定期接種となったが、同6月から国は積極的勧奨を控えるとしたため対象者への通知は皆無、厚労省の専門部会は2021年11月15日積極的勧奨を再開する方針を承認、忠岡町としての対応は。

高齢者の送迎支援について

問 高齢者が病院、美容室、お墓参り、お友人と会ったり等々、お出かけの際に、ご自宅から目的地へ利用できるお手伝いをしていただきたい。

答 〈健康福祉部長〉福祉バスが町内を巡回している。買い物支援サービスもあり、財政状況が厳しい為、実施は出来ない。





北村 孝 議員 (公明党)

新型コロナワクチン接種について

問 本町においての感染者数はこれ迄と違って1日当たり2桁で推移しています。重傷者の数も増えてきています。こういった事からもワクチン接種の3回目接種を加速化が必要と考えるが進捗状況と見解をお伺い致します。併せて小児へのワクチン接種についての本町の見解は。

答 〈健康福祉部長〉高齢者の方の接種については国の前倒し接種の方針により2月においては、1ヶ月の前倒しが行われており接種券が届き次第、接種が可能となっています。今後、これ迄以上に3回目接種の速やかな実施に努めてまいります。小児ワクチン接種については、厚生労働省からのワクチン接種の実施についての指示に基づき、接種事務を行っているところです。小児のワクチン接種については、様々ご意見がありますが接種を受けることは強制でなく、ワクチンの予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意思で接種を受けていただくものです。

シビックセンター(庁舎)について

問 20年以上経過している庁舎の改修を計画的に取り組む時期がきているのではないかと。

答 〈町長公室次長兼総務課長〉シビックセンターにおきましては、竣工から20数年が経過し、雨漏りをはじめとする機械設備の経年劣化など様々な問題が山積していて、庁舎を含め老朽化に伴う修繕や更新の必要性が喫緊の課題となっている。限られた財源をより効果的に活用し来庁される方々に影響を及ぼす箇所を優先に考え、優先順位を踏まえた中長期保全計画を策定するなど段階的に効率よく施設の長寿命化に向けた対応を行って参りたいと考えます。



勝元 由佳子 議員 (改革忠岡)

“なあなあ”な町政の問題

問 本町では、特定の町民・業者等が役場の職員執務スペースに入り込んで自由に振る舞っている姿をよく見かける。また、新聞報道された発注情報漏洩問題でも職員が業者に断り切れなかったとのことだが、結局、本町職員が特定の町民・業者らに対して「ダメなものはダメ!」と毅然とした態度を取れないところに根本的問題がある。そうした“なあなあ”“なれ合い”な接し方の問題が町政に悪影響を及ぼし、行政としての公平・公正な自治体運営を歪めている感が否めない。こうした忠岡町の「悪しき慣習」を改善する気はあるのか?

答 〈町長公室長〉従前から周知はしているが、再度周知を行い、住民から「なれ合い」と見られないよう努めていく。

**新型コロナワクチン接種について
～もっとリスク等の情報発信を～**

問 新型コロナワクチンは、mRNAワクチンという、これまでにない非常に特殊な未知のワクチンであり、子どもへの接種も含め、このワクチンを接種することについては専門家の間でも意見が分かれている。

このワクチン接種について泉大津市と忠岡町の情報内容を比較すると、泉大津市はリスク等の情報もきちんと発信しており、住む自治体によって大きな差がある。厚労省もこのワクチンの長期的安全性を示すデータが得られていないことを公表しており、そうした将来的リスクも含め、しっかり情報発信することは行政の責務と考えられる。もっと住民にリスク面の情報を発信・提供すべきではないかと。

答 〈健康福祉部長〉ワクチン接種のメリットとデメリットを考慮した上で接種するかどうかご判断頂くことになる。その判断のための情報を町HP上に掲載している。



二家本 英生 議員 (日本共産党)

障がい児について切れ目ない支援を

問 本町の発達障がい児の早期発見・支援は。

答 〈健康福祉部長〉乳幼児健診後に発達の課題が見られた場合、指導教室の案内や心理士による相談を設けている。保育所等とも連携を図り、巡回相談等を実施し、支援につなげる。

問 放課後等デイサービスは、国の方針を受け、本町でも、利用日数の上限が原則化された。障がい児の自立を願う保護者にとっては、療育は重要である。原則にとらわれず、支給量決定には慎重な対応を。

答 〈健康福祉部長〉決定については、事業所の理由書や保護者の聞き取り、児童本人や家庭状況など、状況を踏まえた上、必要と判断した場合、原則の日数を超えて利用できるよう、本町の職員で総合的に判断している。

問 4年前の障がい児福祉計画で、療育支援の重要な拠点になる児童発達支援センターの設置が目標として示されているが、未設置である。経緯を。

答 〈健康福祉部長〉各市町の設置状況や方策、時期など調査してきた。人員等の確保の問題もある。

子育て支援として、18歳までの医療費助成の拡充を少しでも早い実施を

問 新年度の施政方針で、10月より、子ども医療費助成の対象を18歳まで拡充することが示された。経済的理由でも安心して治療を受けられ、子育て世帯への負担軽減にもなる。少しでも早い導入を。

答 〈健康福祉部長〉システム改修等の準備で一定期間が必要。上半期は事務多忙の時期であり、体制が整わない。10月開始が最短である。



是枝 綾子 議員 (日本共産党)

令和5年開園予定の(仮称)東忠岡地区認定こども園について

問 現在(令和3年度)、本町では保育士不足により、待機児童が発生している。建設中の町立認定こども園が開園したら、待機児童はゼロになるのか?

答 〈教育部長〉認定こども園が開園すれば、幼稚園勤務の職員の増加も見込めるので、待機児童の解消は図れるものとする。

問 併設される町立の子育て支援センターの位置づけと役割について。

答 〈教育部長〉町立の施設であるため、本町における子育て支援の中心的な役割を担いつつ、民間の支援センターと連携し、町全体で子育て支援の充実を図ってまいりたい。



防災無線の聞こえないお宅に戸別受信機の設置を

問 忠岡町が防災無線工事を発注したところと同じ業者が、ある市では事前調査を行い、聞こえないお宅に戸別受信機を本体工事の時に一括購入して設置している。本町もそうすべきではなかったか?

答 〈町長公室長〉令和4年度に、放送が聞こえない地域で希望される方の固定電話に、町から自動発信するシステム構築にとりくむ。聴覚障害をお持ちの方にも情報伝達できるようFAXでの送信も検討している。

水はけの悪い町民グラウンドの改善の取り組みは?

問 町長は就任後、初の議会で、水はけの悪い町民グラウンドの改善に取り組むと答えられた。施政方針に「改善の手法の具体化をはかる」とあるが、どのようなものなのか?

答 〈町長〉手法は担当課といろいろと考えている。水はけのいい、立派なグラウンドに変えていきたい。



河野 隆子 議員 （日本共産党）

ごみ焼却施設は広域化に全力を

問 廃棄物減量等審議会が開かれ、民間委託が検討のひとつに。これまでごみ焼却施設は広域で進めていくと認識してきた。なぜ民間委託が基本構想に含まれているのか。

答 <住民部長>住民サービスや将来の財政負担を慎重に考え調査したところ、民間委託処理が可能であることがわかり、広域に加えて提示させていただいた。

問 民間の資金で施設建設・運転管理もすることになると、忠岡町はものが言えなくなるのではないかと。また産業廃棄物を焼却など住民の理解を得られないのではないかと。本町は広域化を進められるべきである。

答 <町長>広域の在り方と将来負担も調査し検討してまいりたい。



無料のPCR検査を町独自で実施を

問 感染しても無症状であれば人にうつしてしまう。コロナの感染を抑えるには、希望者が無料で受けられるPCR検査センターが必要ではないか。

答 <健康福祉部長>町独自のPCR検査センターは考えていない。

川に挟まれた高月北の避難計画について

問 高月北は牛滝川と榎尾川に挟まれ、大雨が降ると洪水になると避難経路が心配だ。タイムライン（事前防災行動計画）を作る必要があるのでは。

答 <町長公室長>町では令和3年12月にタイムラインを策定し、令和4年1月に職員への訓練を実施した。今後の課題を見出すことが出来た。

令和4年3月議会の議案審議状況・意見書一覧

令和4年 第1回定例会提出案件

議案番号	件名	議案内容	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めること及び和解について）	車両の物損事故 損害賠償額143,000円での和解成立についての報告	報告
報告第2号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めること及び和解について）	車両の物損事故 損害賠償額253,000円での和解成立についての報告	報告
議案第1号	町道路線の認定について	開発行為の許可により築造され、町に帰属された5路線の町道認定を行うもの	可決 全会一致
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度忠岡町一般会計補正予算）（第8号）	子育て世帯臨時特別給付金給付事業費135,000千円（18歳未満への5万円給付予算）	可決 全会一致
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度忠岡町一般会計補正予算）（第9号）	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金332,808千円の使途について（住民税非課税世帯等臨時特別給付金315,700千円など）	可決 全会一致
議案第4号	忠岡町と泉大津市との間における大阪府から移譲される事務の委託に関する規約の変更協議について	府の条例改正時においても、規約の引用条項について影響を受けないよう、所要の見直しを行うもの	可決 全会一致
議案第5号	付属機関に関する条例の一部改正について	新たに入札監視委員会及びESCO事業者選定審査委員会を付属機関として設置するための改正	可決 全会一致

議案番号	件名	議案内容	議決結果
議案第6号	忠岡町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	非常勤職員の育児休業等の取得要件緩和等の措置及び育児休業を取得しやすい勤務環境の整備をおこなうための改正	可決 全会一致
議案第7号	忠岡町基金条例の一部改正について 《P.12 詳細別記》	奨学資金積立金基金を、義務教育段階までの子ども達の教育・保育の振興や充実のための事業に活用するための改正	可決 全会一致
議案第8号	手数料条例の一部改正について	地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴い、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく審査事務手数料の見直しの改正	可決 全会一致
議案第9号	忠岡町国民健康保険条例の一部改正について	保険料について、未就学児に係る均等割額を減額するための改正	可決 全会一致
議案第10号	忠岡町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	国の基準に準じて、団員の災害、警戒、訓練等の活動に応じて支給する出勤報酬新設等を行う改正	可決 全会一致
議案第11号	忠岡町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	法律の改正により、消防団員等の補償年金等を金融公庫へ担保に供することが廃止になったことに伴う改正	可決 全会一致
議案第12号	令和3年度忠岡町一般会計補正予算(第10号)について 《P.12 詳細別記》	一般会計歳入歳出予算の総額に59,832千円を追加し歳入歳出予算を8,186,308千円とする	可決 全会一致
議案第13号	令和3年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)について	歳入歳出予算の款・項の区分及び当該区分ごとの金額補正(15,646千円を減額追加補正)	可決 全会一致
議案第14号	令和3年度忠岡町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	歳入歳出予算の款・項の区分及び当該区分ごとの金額補正(387千円を減額追加補正)	可決 全会一致
議案第15号	令和4年度忠岡町一般会計予算について	令和4年度当初予算についての審査 (審査内容については2ページに記載しています)	可決 全会一致
議案第16号	令和4年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	令和4年度当初予算についての審査 (審査内容については2ページに記載しています)	可決 全会一致
議案第17号	令和4年度忠岡町介護保険特別会計予算について	令和4年度当初予算についての審査 (審査内容については2ページに記載しています)	可決 全会一致
議案第18号	令和5年度忠岡町後期高齢者医療特別会計予算について	令和4年度当初予算についての審査 (審査内容については2ページに記載しています)	可決 全会一致
議案第19号	令和4年度忠岡町下水道事業会計予算について	令和4年度当初予算についての審査 (審査内容については2ページに記載しています)	可決 全会一致
報告第3号	事務報告について(令和3年分)	令和3年に各部署が実施した事務事業について	報告
忠議第1号	忠岡町議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	政務活動費の交付手続きにおいて、押印を廃止する改正	可決 全会一致
議案第20号	忠岡町児童遊園条例の制定について	児童遊園の設置について、新たに条例制定を行うもの	可決 全会一致
議案第21号	令和3年度忠岡町一般会計補正予算(第11号)について 《P.12 詳細別記》	一般会計歳入歳出予算の総額に30,330千円を追加し歳入歳出予算を8,216,638千円とする	可決 全会一致
議案第22号	令和4年度忠岡町一般会計補正予算(第1号)について 《P.12 詳細別記》	一般会計歳入歳出予算の総額に50,958千円を追加し歳入歳出予算を7,588,235千円とする	可決 全会一致

議案番号	件名	議決結果
決議 第1号	ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難する決議について	可決 全会一致
意見書 第1号	国民健康保険料の子ども均等割減免の拡充に関する意見書の提出について	否決 反対多数
意見書 第2号	後期高齢者の医療費窓口負担割合の引き上げを行わないことを求める意見書の提出について	否決 反対多数

※上記 意見書につきましては、一部賛否が分かれる結果となりました。

議案第7号 忠岡町基金条例の一部改正の内容

- 児童生徒の奨学の資金にのみ使われていた奨学資金積立金基金を義務教育段階までの子ども達の教育・保育の振興・充実に資する事業の推進などが追加され、教育全般の幅広い活用を目的とした教育振興基金と改めました。



議案第12号 令和3年 忠岡町一般会計補正予算(第10号)の主な内容

補正額：59,832千円

- 新型コロナウイルスワクチン接種費用 15,178千円
(新型コロナウイルスワクチン3回目接種を行うにあたっての経費)
- 人件費の増額(退職手当・時間外勤務手当) 39,596千円 等



議案第21号 令和3年 忠岡町一般会計補正予算(第11号)の主な内容

補正額：30,330千円

- 退職手当 15,015千円
- ふるさと忠岡応援寄付金謝礼 3,000千円
- 寄付金返礼品発送等業務委託料 1,300千円
- 小中学校感染症対策備品購入及び消耗品代 4,050千円 等



議案第22号 令和4年 忠岡町一般会計補正予算(第1号)の主な内容

《新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業》(国補正)

補正額：50,958千円

- 感染予防対策救急器具等購入事業 5,945千円
- ホームページ更新事業 12,383千円
- 忠岡小学校旧館教室床改修事業 6,400千円
- 保育所等感染予防対策事業 5,448千円
- 公共施設感染予防対策事業 1,567千円
- 障がい者工賃等支援事業 2,116千円
- 妊婦感染防止宿泊支援事業 780千円
- 保育所等ICT導入事業 4,000千円
- 妊婦に対する加湿機能付空気清浄機購入助成事業 7,951千円 等

